

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473100921	事業の開始年月日	平成17年3月1日	
		指定年月日	平成17年3月1日	
法人名	社会福祉法人 大富福祉会			
事業所名	グループホーム ソフィアライフ			
所在地	(〒233-0016) 神奈川県横浜市港南区3-17-10			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	18名	
自己評価作成日	平成22年9月15日	評価結果 市町村受理日		
ユニット数	2ユニット			

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>&lt;最も力を入れている点&gt; 人的環境...スタッフと入居者や、スタッフ間での言葉遣いの心地良さに加え、笑顔で落ち着いた振る舞い等の非言語的なコミュニケーションを大切に考え、力を入れている。自然な形で違和感なく、入居者の心に響き感じることが、認知症があっても全ての入居者が「私らしく」あたりまえの暮らしに繋がると考えている。</p> <p>&lt;アピールしたい点&gt; 人的環境を整えた上で、内部・外部研修を通して、ケアの質の向上を図っている。そのことが結果的にスタッフのモチベーションアップに繋がっている。又、PTを交えてのリハビリ・足湯施設の隣接・恵まれた立地環境・クラブ活動をアピールしたい。</p>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成22年11月29日	評価機関 評価決定日	平成23年2月25日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所概要】</b> 当事業所は横浜市営地下鉄ブルーライン下永谷駅から徒歩10分にあり、環状2号線沿いの閑静な住宅地にある。広い敷地に駐車場や足湯設備を備えた2階建の建物である。建物の内部は動線がよく、職員は利用者の動きを捉え、すぐに対応できる。採光、温湿度が快適に維持され、アロマテラピーの香が漂い、清潔感がある。</p> <p><b>【医療と福祉の連携・看取り介護の充実】</b> 看護師である管理者と夜間でも常に連絡が取れる体制があり、医療の緊急時における的確な指示が得られる。各種医療機関の医師との連携体制も良い。理学療法士が月1回来所し、リハビリに力を入れている。ターミナルケアについては、現在までに6例の実施実績がある。契約時点で重度化や看取りに関する考え方を提示し、利用者・家族の同意を得ている。終末期に至ると、家族・医師と最善の方針を話し合い、受け入れ条件をはっきりと明示したうえで方針の共有を図っている。終末期の介護についての研修を実施し、看取り介護のできる体制を築いている。</p> <p><b>【理念「その人らしさ」の実現を目指すスタッフ】</b> 開設後6年目を迎えているが、当初から継続して勤務している職員が3~4割を占め、常勤率も高い。また、男性勤務者が多いことも特徴である。介護の専門家として福祉関係の資格を積極的に取得するなど職員はスキルアップを目指している。認知症を支える専門技術として接し方、声かけ、言葉を伴わないコミュニケーションへの意識を高めている。利用者のペースにあわせ、起床、食事時間を自由にしており、料理や手芸などその人の残存能力を生かして日常生活を安らかに送ることができるよう支援に努めている。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ソフィアライフ
ユニット名	ばら

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>理念を作成し、共有して実践につなげている</li> <li>内部研修・座談会を通して確認・意見交換し合い、日々努力する</li> <li>本人らしさや本人の思い・尊厳を大切に寄り支援している</li> <li>ホームの理念を多少とも理解し共感し介護に務めている</li> <li>スタッフ一同、理念に基づき実践・努力している</li> </ul>	<p>発足当時の理念を再検討し、従来の「その人らしさへの支援」に「地域と協力し合い」(要約)を加え策定している。毎月の全職員出席の座談会(職員会議)や隔月の研修会で確認し、徹底を図っている。利用者に添うスタッフの振る舞いや言葉かけ、防災訓練や小学校との交流など地域連携の広がりに、理念を目指した取り組みが実践されていることがうかがわれる。</p>	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>買物、散歩等の外出を通し、又地域ケアプラザのイベント等を通し交流している</li> <li>月一度のホーム周辺の掃除を行っている</li> <li>外に散歩や買い物に行った時等、近所の人達に合った場合挨拶を交わしたり雑談している</li> <li>足湯等で交流を図っている</li> <li>毎日とはいかないが交流している</li> </ul>	<p>町内会に加入している。町内会とは本年中に防災協定を結ぶ合意に達している。地域ケアプラザのもちつき大会に参加したり、クリスマス会にはボランティアがギター演奏に来るなど交流がある。小学校4年生の総合学習の一環としての行事「高齢者との交流」では、ホームを訪れた子ども達と歌や踊り、ゲームを楽しんでいる。ホーム周辺の清掃活動を行ったり、近隣の人たちとの挨拶を交わしたり、接点を持つ努力をしている。</p>	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラバンメイト(認知症ケアサポート)講座に出席の機会を作り取り組んでいる</li> <li>近所の地域ケアプラザでイベントがある場合、入居者と訪問する事もある</li> </ul>		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーの方々の意見は大変参考になり、多めに活かしている。活動状況報告も詳細に行っている</li> <li>サービス向上に活かしていると思う</li> <li>定期的に開かれており、活かされていると思う</li> <li>職員会議・座談会等で、入居者のサービス向上について話し合っている</li> </ul>	<p>運営推進会議は年4回開催され、出席者は自治会長、地域包括支援センターの主任ケアマネジャー、家族2名、内科医、管理者、フロアリーダーである。活動状況や外部評価結果が報告され、課題の改善についても実施報告がなされている。ホームの防災訓練に地域から6名参加してもらう約束を取り付けたり、もちつき大会への招待を受けるなど地域交流・連携の推進を担う会議となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所で(1回程度/年)開催されるグループホーム連絡会で情報交換の機会がある</li> <li>現状は余り関係が築かれていない気がする</li> </ul>	区福祉保健センターの担当に「運営推進会議報告」を提出し、行政から依頼のあった「虐待アンケート」に回答している。GH連絡会では、キャラバンメイトについての相談をしている。芹が谷地区の消防署長と連携し、防災訓練への参加を要請したり、地域との調整を依頼するなど協力関係を築いている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解しており、玄関施錠は夜間以外行わない方針</li> <li>月に1度座談会を通して報告があり拘束をしないケアを心掛けている</li> <li>スタッフ連携の元、取り組んでいる</li> <li>常に見守りを重視しながら拘束をしないケアに取り組んでいる</li> <li>玄関の施錠はしていないので、入居者はホームの中で自由に生活されている</li> <li>その人らしく生活出来る様支援している</li> </ul>	拘束・虐待に関する研修を実施し、身体拘束禁止への認識を職員間で共有している。拘束をしないケアとは「不安・不穏にさせるケアをしない」ことであるとし、そのためには「スタッフが穏やかであること」が必要であると捉えている。雰囲気、行動・身振り、表情などの非言語的コミュニケーションに、最も力を入れている。各ユニット入り口・居室の施錠はなく玄関も日中はされていない。居室のドアは危険防止のため日中開けている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修(毎年テーマを選び、誰か一人は出席)で得た内容は内部研修で、全スタッフに伝えている</li> <li>声掛けの仕方から注意を払う様にしている</li> <li>座談会で常に話し合い虐待はない</li> <li>内部研修等で勉強しスタッフ全員で努めている</li> <li>言葉の暴力も虐待と理解するよう指導されている</li> <li>本人の気持ちを考えると虐待などあり得ない</li> <li>利用者の状態に気を配り変化が無いが注意している</li> </ul>		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度理解を含め、利用されている入居者の後見人の方と上手く連携を図る様にしている</li> <li>研修で学んだ事はあるが、後見制度についての理解は不十分である</li> <li>これから、しっかり学んでいく</li> <li>個担のケース会議等に参加している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入時の最も大切な条件と理解している</li> <li>まだ、契約の締結を行ったことはない（勤務期間が短いので）</li> </ul>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営方針は初めに伝えてあり、内容変更、追加があれば伝えてあり柔軟性を持って取り組む姿勢である</li> <li>ご家族からの意見、入居者からの訴え等は尊重している</li> <li>管理者やスタッフ全員がご家族、入居者の意見を取り入れる様努めている</li> </ul>	<p>敬老会やクリスマス会など家族が参加する行事の際にはアンケートを行い、事業所に対する希望や要望を自由に記載してもらっている。外部の苦情解決機関を掲示し、契約時にも説明している。家族の来訪時には話をしやすい雰囲気作りに努め、要望や意見を聞いている。食事の座席の並び方や食事量、同性介助の希望などについて出された要望を、サービスに反映させている。家族会の設置はされていない。</p>	<p>家族同士が集い、互いの情報交換や交流、活動が行われる家族会発足への支援を期待する。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回/年は設ける様にしている</li> <li>反映させている</li> <li>要望を提出してもなかなか条件もあり難しいと思う</li> <li>機会自体はある様だが、意見が反映されているかは不明</li> <li>個人面談や座談会で意見提案を聞いてもらっている</li> </ul>	<p>昨年度の外部評価の結果から、職員に対する10項目の意識調査アンケートを行った。内容は研修内容の希望、認知症介護への適合性、面談要望、法人への要望等である。座談会や理事長及び管理者との面談でも職員からの要望や意見を聞いている。意見に対しては研修会で回答し、エアコンの取り付けや大型車を運転する職員の年齢制限解除、人員増強等の措置が行われ、業務のしやすさや福利厚生の上につながった。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい社会の介護情勢の中、柔軟性に対応していると思う</li> <li>要望を提出してもなかなか条件もあり難しいと思う</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームからの要請には毎回応じてくれ、1回/月又は1回/2か月、各会議における時間外手当含む外部での研修費用にも協力的である</li> <li>・座談会や内部研修等行っている</li> <li>・色々な面で介護の現場での必要性を学ばせて貰っている</li> <li>・内部研修を受けての発表や月一回の座談会等で話し合う機会を設け知識技術を身につける様務める</li> <li>・問題ないと思える</li> <li>・全スタッフに研修・講演会等の機会を設けてくれている</li> </ul>			
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に取り組み支援を行っている</li> <li>・常に情報を流し、入居者が心地よい生活を送れるようにしている</li> <li>・交換研修等を実施してレベルアップに務めている</li> <li>・勉強の場がある</li> </ul>			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは世間話をしながら自然に関わる様に行っている</li> <li>・そんな中からアセスメントを行っている</li> <li>・日々の生活の中で入居者の話を良く聞く努力をして納得していただける様にする</li> <li>・ご本人とマンツーマンで話し合い、意見を聞いたりしている</li> <li>・常に入居者との会話を心掛けている</li> <li>・常に話し合う場があり、改善等に心掛けている</li> <li>・入居者の話を良く聞き、どのように対応するのが良いか考えている</li> <li>・本人の話をなるべく聞いて分ってあげる様に行っている</li> <li>・管理者が入居前に調査をしホームにも本人・ご家族共に見学を実施されているので安心である</li> <li>・務めているが限界がある</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な事だと理解し、関わっている</li> <li>各入居者のご家族や個担を交え責任者立会いの許ケース会議がもたれている</li> <li>来所された時に、ご家族と話をし、色々な事を聞く</li> <li>ご家族の面会時等出来るだけ今までの様子等話して頂く</li> <li>どんな小さなことでも耳を傾け良好な家族関係に努めている</li> <li>ご家族の訴え、要望等は尊重し対応している</li> </ul>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広いアセスメントの中から課題を見つけ出し、ケアプラン作成を行っている</li> <li>必需品、外出希望の依頼があった時、叶えられる様に準備しておきたい</li> <li>ご家族が話をしやすい場づくりを提供するよう努めている</li> </ul>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互い助け合いながら良好な関係を築くようにと常に意識している</li> <li>共に過ごしながら毎日の生活の中で必要な衣食住を協力し合い過ごしている</li> <li>築いているが完全ではない</li> <li>対等の立場で信頼関係を築く様努力する</li> <li>自分としては、入浴時に特に関係を築く様、努力する</li> <li>食器拭きや洗濯物たたみ等一緒に手伝って頂き、終わった後はお礼の気持ちを伝えている</li> <li>入居者が安心して声掛け出来る様心掛けている</li> <li>介護しながら入居者とコミュニケーションを計り務めているし常に生活に張りがあり、楽しんで頂けるよう努力している</li> <li>関係を築ける様に努力している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人を中心にし職員とご家族は常に近い距離で相談しながらケアを行う様にしている</li> <li>・職員一同、入居者・ご家族一緒に支え方を話し合っている</li> <li>・面会時にホームでの様子等話してあげる様にしている</li> <li>・6カ月後にケース会議が実施されご家族も参加意見交換を行う</li> <li>・ご家族の面会もある ご家族が食事介助に面会等、様々な関わりがある</li> <li>・気軽に訪問して頂き、各居室やフロアで過ごされている</li> <li>・築いているが完全ではない</li> </ul>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の協力を得つつ努めている</li> <li>・ご家族や知り合いの方々が面会に来所され入居者と居室又はフロアで談話出来る様な雰囲気を作る様努めている</li> <li>・居室にご本人が好まれる者を置く等の配慮をしている</li> <li>・いつでも面会が出来る</li> </ul>	<p>家族や友人、知人が面会に来られた際には、居室やフロア、屋外にテーブルなど設定し、楽しく談話が出来るように援助している。家族の協力のもと、学校時代の同窓会へ参加した方がいる。地域への買い物や散歩などに連れ立っている。昔話をしたり、親しんできた音楽などを流し、本人の心の中に楽しさが思い出されるように努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その為には、一人ひとりの入居者に対して職員の厚い関りが重要と考えている</li> <li>・各々の性格に上手に関わり利用者同士支え合えるような支援に努める</li> <li>・入居者一人ひとりの個性を尊重しつつも、衝突が起きないように見守る</li> <li>・レクリエーションの場において、皆様に集まって頂き関わり合いを持っていただく</li> <li>・楽しそうな時には見守り、一人で居る時には声掛けして様子を見る</li> <li>・入居者同士も気の合った人達と楽しく交流できる様な雰囲気を作る様に努めている</li> <li>・レク等、皆で楽しめるような機会を作っている</li> <li>・スタッフが常に良い関係を築ける様に見守っている</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>退去された(看取り)後も、ご家族の相談ごとに耳を傾ける事がある</li> <li>ご家族との関係性も大切にしていきたい</li> </ul>			
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>必ずご本人に確認するようにしているが、要望は無く今のままで良いと答えられる方がほとんどである</li> <li>各々の趣味。趣向は違うので希望を叶えられるよう話し合っている</li> <li>6か月ごとのケアプラン</li> <li>ケース会議にて意見を出して努める</li> <li>出来るだけ本人の気持ちに添える様にしている</li> <li>一人ひとりの生活パターンに合った日常生活を心掛けている</li> <li>出来る事なら希望に添えるよう努力するが無理な時はしっかり説明し理解してもらう様にしている</li> <li>個人ファイルを参考にしている</li> <li>本人の希望や何が大切なのか日々スタッフと話し合い努めている</li> </ul>	<p>入居時のアセスメントや日常生活の中で、本人・家族から希望を聞いている。時間をかけて丸ごと受容するように心がけ、利用者の希望に沿う努力をしているが、できない場合にははっきりと説明している。気持ちを表すことが難しい方については行動や様子、顔の表情などを観察し、声を出して確認するなど本人の意向把握に努めている。思いを把握する技術はケアの真髄と考え、実践している。</p>		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居時にアセスメントし把握するがご家族と関わっている中で数年経ってから新しい情報を得る事がある</li> <li>入所時に作成された経歴等スタッフは把握できるようになっている</li> <li>ケアプランを通じて把握し努める</li> <li>時間のある時は、ゆっくりと話を聞いてあげる様に努力している</li> <li>入居前に事前調査等で把握していると思うが早くなじんで頂くよう務めている</li> <li>個人ファイルに目を通し参考にしている</li> <li>全てを把握していないが、利用者とは話して知ることもあり、努力している</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションや家事等の関りのバリエーションを広げる中でパワー等見つけ出す事がある</li> <li>・連絡ノートや日々の記録ノートを通して把握し、快い一日が過ごせるように努力している</li> <li>・暮らしの中で行動（入浴時、歩行時等）を見て努める</li> <li>・その日によって違うので、声かけやレクリエーション等で様子を見る</li> <li>・入居者の心や体は常に変化しているので良いケアをと心がけている</li> <li>・入居者の状態に変化が無いか配慮している記録に記入されている</li> <li>・常に一人ひとりの変化を見て対応していきたい</li> </ul>		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画を基に日常ケアをすすめている</li> <li>・ご家族との連携で常にコミュニケーションを通し、細部まで気遣い即対応を心掛けている</li> <li>・月に1度の座談会があり意見交換・話し合いを行う</li> <li>・スタッフ全員でアセスメントを作成している</li> <li>・モニタリングは実践中である</li> </ul>	利用者スタッフは1対1の担当制を敷いているが、スタッフ全員が利用者一人ひとりの観察を行い、アセスメント表に記入している。各利用者にはアセスメントのまとめ、個別経過記録、介護計画・リハビリ計画・3ヶ月ごとのモニタリング表が作成されている。それらの資料をもとに家族、主治医、担当スタッフ、ケアマネジャー、看護師が出席するケース会議を開催している。一人ひとりの利用者の状況を反映させた6ヶ月に1回の介護計画の作成・見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングのペースともなるため、必ず記録を行いスタッフ間で共有している</li> <li>・活動日誌・個別記録を毎日引き継ぎを実施し、当日のスタッフ全員が把握している</li> <li>・日々の生活の中で細部まで心掛け安心して生活できる様情報交換を密にしている</li> <li>・個別記録表や日誌があり入居者の1日の様子等を記入する様に実施している</li> <li>・変化改善等はノートに記入し共有している</li> <li>・記録に具体的内容を番号で記入している</li> <li>・その日のスタッフ全員に申し送りを行っている</li> <li>・細かい記録をとりケアに活かしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約には規定されていない事が、現実には生じる事もある</li> <li>・その都度努力の姿勢を取っている</li> <li>・管理者が行っている</li> <li>・取り組んでいる</li> <li>・誕生会・施設のイベント等、ご家族に参加して頂いている</li> </ul>		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアプラザ催しごとに参加したり、近隣の自然施設(公園や動物園etc.)の利用</li> <li>・防災訓練に参加している</li> <li>・ボランティア(演奏など)訪問有り</li> </ul>		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族を通して薬の変更を決定する等、往診時に立ち会ってもらおう等、密な関係を保っている</li> <li>・ご家族の意向、施設のかかりつけ医等を通して入所者も安心して受けている</li> <li>・ご家族より受診の連絡があると、本人の着替えなど準備して待っている</li> <li>・歯科・内科・皮膚科・泌尿器科の往診あり</li> <li>・往診医師との関係は良好</li> </ul>	<p>かかりつけ医の選択及び受診については家族が決める。外部の医療受診情報は家族から得ている。往診時にはスタッフまたは家族が付き添い、受診情報を把握・共有している。管理者が看護師であり、体調の変化に気を配っている。入居前からのかかりつけ医は2名で、その他の方は事業所の協力医を受診している。協力医は内科、歯科、皮膚科、泌尿器科の往診がある。健康診断については日常的に看護師が観察しているので、必要に応じて行っている。</p>	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が看護師のため適切に行えている(常に適切な指示がある)</li> <li>・施設内に日々いるので小さな変化にもすぐ対応できている</li> <li>・往診時、気になる事等は確認して適切に介護できるように努めている</li> <li>・日々の関りを通して変化に注意し、変化があれば報告する</li> <li>・常に相談できる状態にある</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族を通して、早期退院に向けて病院と調整を図る様にしている</li> <li>・緊急時の入院はご家族に連絡しスタッフが付き添って行くが病院関係者との関係は難しい様な気もする</li> <li>・入居者・ご家族に対して出来るサポートはしている</li> </ul>		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイミングを計りながら、現状や予想される状態を家族に伝え、ホームを選択された場合「出来る事、出来ない事」をはっきり提示している</li> <li>・管理者が決めた事に従い、チームで支援している</li> <li>・内部研修の「ターミナルに向けての話」等を勉強・理解し、管理者の指導の基、支援に取り組んでいる</li> <li>・管理者を中心としてご家族の話合いは職員に伝えられケアの方針を考え、共有し支援している</li> </ul>	ホームでの重度化や看取りに関する考え方を提示した「ソフィアライフの重度化・看取りに関する指針」の同意書を契約時に身元引受人からもらっている。食事のむせこみや溜め込みが頻発するようになったら、家族・医師を交えて看取りについて話し合いを持っている。主治医の賛同、家族の協力などの受け入れの条件を提示し、「重度化・看取り介護についての承諾書」を取り、終末期には個別のマニュアルを作成している。終末期医療については、吸引器の使い方、看取りのケア、利用者・家族への精神的ケアについて全員が関わられるよう看護師である管理者から研修が行われている。現在までに6名の方を看取った実績がある。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に誤嚥や喉に詰まらせた時の対応(掃除機利用等)の訓練を行っている</li> <li>・誤嚥時の道具の使い方、緊急時の連絡方法、避難訓練を受け誘導の仕方等勉強している</li> <li>・実践は無いが、急変時のマニュアルを参考にしている</li> <li>・内部研修等で勉強はしているが確実に行えるか疑問である</li> <li>・不安を感じている</li> <li>・していない</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の指導による避難訓練を受け、誘導の仕方等勉強している(誘導等)</li> <li>・年2回職員・入居者で消防署の協力の元で防災訓練を実施</li> <li>・築いている</li> </ul>	<p>夜間想定訓練を含む年2回の防災訓練が利用者・職員・消防署員を含めて実施されている。前回からは町内会の協力を得て地域住民6名の参加があった。町内会とは年内に防災協定を結ぶことが決定している。消防署との直接専用電話回線、スプリンクラー、消火器の設置がある。事業所内には、飲料水とヘルメットが用意されている。近接の同法人経営の特別養護老人ホームの倉庫に非常食が共同で備蓄されている。</p>	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最も留意している事である</li> <li>・言葉遣いに注意し声掛けを心掛けている</li> <li>・部屋に入る時や、私物に触る時は、必ず許可を頂いてからにする</li> <li>・誇り高い方等言葉かけには注意する 又、丁寧すぎても良くない場合はその都度対応する</li> <li>・一人ひとりに合わせた声掛け・対応を行いプライバシーを守る様に努力している</li> <li>・常に健康状態や声掛けの工夫、チェックを心掛けている</li> <li>・入居者の気持ちを大切に見守り対応している</li> <li>・居室に居る時等様子を見ながら声掛けをしている</li> <li>・対応している</li> <li>・丁寧な声掛けを実践している</li> </ul>	<p>人格の尊重とプライバシーに関しては、最も留意している点である。一人ひとりに合わせた声掛けや対応、非言語的なコミュニケーションの活用など排泄確認時は特に注意を払っている。会議や研修でグループワークを行い「一歩ホームの外に出たら利用者に関わる話はしない」などプライバシーへの注意・確認をしている。アセスメントや介護サマリーなど、個人情報の含まれる書類は事務室の鍵付き金庫に保管されている。パソコンにはパスワードを設定している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己決定しやすい、人的環境を整えている</li> <li>説明し、納得して頂ける迄、時間を掛け支援している</li> <li>ご本人に聞いたり、問いかけたりしながらすすめていく</li> <li>何事にも自己決定出来る方が多く、他の方にも職員が希望を確認するようにしている</li> <li>気をつけてはいるが一人ひとりに関する時間にムラがあり思いを聞けない時もある</li> <li>一人の入居者に対応する時間が多い</li> <li>問題なし</li> <li>スタッフが先に言ってしまうのではなく、相手の言葉を待つようにしている</li> <li>なかなか全入居者と1日勤務の中で関る時間を持ってない</li> <li>常に本人の思いや希望を聞ける様声掛けし努力している</li> </ul>		
38		<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家事手伝いを中心に、又レクリエーションの前には意思確認をする様にしている</li> <li>介護優先にならないよう努力している</li> <li>個々のペースを守り尊重し希望に添える様支援している</li> <li>可能な限り、入居者の意思決定を尊重している</li> <li>なかなか優先する方が流れになってその人一人ひとりのペースを大切にするのは難しいが、小さな希望をいくつか聞きながら支援するように努めている</li> <li>毎日ではない</li> <li>入浴などは先に本人に時間を確認したりして希望に合わせている</li> <li>レク等も選択し(入居者)皆で楽しく出来る様工夫している(卓球・キャッチボール) 脳トレも実施</li> <li>一人ひとりのペースを配慮し(体調等も考慮し)関わって頂ける様支援している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカーフを巻く(女性の場合)等留意している</li> <li>・日々の暮らしの中でも身だしなみに気を付け外出時には家族にも協力して頂く</li> <li>・起床時に髪の毛をとかしたり整容に努める</li> <li>・入浴時に衣類の選択なども利用者に伺う</li> <li>・入浴の際も「どの洋服を着たいか一緒に仕度したり、努めている</li> <li>・起床時も同様</li> <li>・2か月に1度美容師の訪問カットあり(家族と相談し行っている)</li> <li>・努力しているが世代が違いすぎるので完全ではない</li> <li>・食後の口拭きなど配慮している</li> <li>・気がついた時は努力している</li> </ul>		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調やADLを見極め声掛けし、心良く応じていただけたら、一緒に行っている</li> <li>・食事は一日の中でも楽しみな時間なので利用者と共に協力し合っている</li> <li>・味は薄めにしているが、一人ひとり食べやすい形態にしている</li> <li>・食事の後片付けで、お皿やカップ等を拭いて頂く</li> <li>・出来る方には手伝って頂き楽しく食事をしている</li> <li>・常に皆様と食の大切さも楽しむ事も心掛けている</li> <li>・食事の支度(野菜を切ってもらう、盛り付け等出来る事)</li> <li>・片付けは可能な限り手伝って頂く</li> </ul>	<p>利用者の能力に合わせて、調理や盛り付け、配膳、片付けなどを一緒に行っている。利用者が栽培した野菜を食材としていたり、クッキー作りや干し柿作りをしている。一緒に食事や介助をしながらスタッフが一人ひとりに言葉かけや気配りをし、明るい雰囲気は漂っていた。2階ユニットでは来年の干支の話で盛り上がり、たのしい食事風景が観察された。法人の管理栄養士が1週間単位の献立を立て、栄養バランスやカロリーへの配慮をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士の献立に基づいて調理をしている</li> <li>・嚥下機能に応じてミキサー食等に対応している</li> <li>・水分を留意する利用者には声掛けをしっかりとってインチェック記録しINトータルを管理している</li> <li>・水分表等、INトータルを管理している</li> <li>・食事の時もスタッフが一緒に食べて見守っている</li> <li>・お茶がだめなら、違う飲み物にかえる</li> <li>・一緒に飲んだり、声掛け等で量を確保するようにしている</li> <li>・盛り付け等にも工夫したり声を掛けたり、おやつや食事にも果物を出して水分補給をとるよう工夫・配慮している</li> <li>・食事量チェック・水分の少ない方は水分量チェックを行い記録している</li> </ul>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後の口腔ケアを毎回行っている。1回/週歯科往診時、専門家の意見も取り入れている</li> <li>・毎食後の口腔ケアを実施し、歯科往診時指導を受けている</li> <li>・一人ひとり洗面所におつれし、口腔ケアしてもらう</li> <li>・出来ない人はこちらで支援する</li> <li>・個々の力に応じて歯磨きを行っている</li> <li>・一人ひとりのケアを大切にしている</li> <li>・口腔ウェット等も使い行っている</li> <li>・必ずスタッフ一緒に行っている</li> <li>・自立の方は自分でやられる</li> <li>・食後の口腔ケアには気を付け実施している</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る限りトイレ誘導を心掛けリハビリを続け努力する</li> <li>・入居者の排泄パターンを理解し本人が尿意をもよおさなくとも「トイレ大丈夫ですか?」と言って排泄を促してみる</li> <li>・出来る限り一緒にトイレに入るよう努める</li> <li>・やってあげるといふより、してもらい出来ない所はこちらでする努力をしている(パーフェクトではない)</li> <li>・言葉かけの大切さ・言葉かけには十分注意して排泄の声掛け等している</li> <li>・排泄を失敗しないよう食事前、おやつ前、レク前等声掛け誘導で実施している</li> <li>・行っているが困難な場合も多い</li> <li>・排泄の声掛け、記録等は行っている</li> <li>・本人のプライドを尊重し、過剰な支援はしない 自立の人は見守りだったり、トイレ誘導する人等個々の良い方法で声掛けを大事にし行っている</li> </ul>	<p>スタッフルームにカーデックスがあり、利用者一人ひとりのケース記録が明確に把握できるようになっている。排尿・排便を記録し、排泄パターンを把握している。タイミングを捉え、トイレの前誘導を行い失敗しないよう気配りしている。残存能力を活かすケアに努め、ベッドに防水シート敷き、誘導を頻回にし、尿漏れがあってもすぐにオムツにせず、ぎりぎりまで様子を見る対応をしている。誘導をマメに行うことでトイレでの排泄が可能になるとの考えのもと、自立支援を行っている。</p>	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分理解しており、個々に対応している</li> <li>・今までの本人解消の仕方を支援し、便困時には本人納得の上で薬を服用する</li> <li>・便困状況を把握して対応する</li> <li>・牛乳を飲んで頂いたり、便秘が続くようであれば便秘薬の使用もする</li> <li>・食べるものも水分を多くする様に努める</li> <li>・健康状態をチェックして、今何が必要か考え取り組んでいる</li> <li>・便困の場合はチェック表に応じて対応しているがその日の入居者の体調をスタッフ達で話し合い行うことにしている</li> <li>・水分の摂取状態、必要であれば便秘薬等を使用している</li> <li>・食事の時も、野菜を多くとる様にしている</li> <li>・水分不足に気を付け、食前体操や散歩をしている</li> <li>・薬に頼らずセンナ茶、牛乳等飲んでもらう工夫をしている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴時間を希望される入居者は特にいない為AM・PMの分け方で入浴時間をとっているが、会話等の工夫で楽しんでもらうようにしている</li> <li>・入浴拒否の強い利用者にはその人に合った説得タイミングを外さず誘導する</li> <li>・現在、曜日で決めている又、曜日で決める事により、goodタイミングの方もいる</li> <li>・入浴が嫌いな方は、色々な工夫も考える</li> <li>・今後の課題として進めていく</li> <li>・その日入浴する利用者に何番目がいいか希望を聞いている</li> <li>・会話が途切れぬよう又は、入浴の大切さも含めて支援している</li> <li>・週2回のローテーションで行っているが拒否の多い方は声掛け等に工夫している</li> <li>・入浴前は必ずバイタルチェックを行う</li> <li>・出来る限り支援している</li> <li>・観たいTVがある際は順番等配慮している</li> <li>・入浴介助した事が無いが、拒否の多い方には声掛けや時間を工夫して職員で協力し支援している</li> </ul>	浴室の入り口は古い日本家屋の格子戸になっている。内部は手すりや浴室用椅子など器具が揃っている。入浴は週2回、1人介助が基本だが、状況に応じて2人で介助することもある。夜を除いて希望に応じいつでも入浴可能である。希望があれば同性介助を行うこともある。入浴を好まない方に対しては、無理強いせずに入浴してもらうなど気配りしている。柚子湯や菖蒲湯、入浴剤など入浴を楽しめる工夫をしている。足湯設備があり、地域の方や家族にも月2~3回利用されている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中の太陽を浴びると安眠につながり、ホルモンが分泌される事が分っており、実践している。又、眠前の雰囲気作りにも留意している</li> <li>・フロアで傾眠している利用者には声掛けし納得して頂いた上で居室に誘導する</li> <li>・室温の調整等に配慮を払い安眠できる様支援する</li> <li>・ベットのシーツ交換や周りの掃除、布団(タオルケット)の干し等も太陽が出ている時は積極的に行っている</li> <li>・個室なので自由に休息できる</li> <li>・出来る限り支援している</li> <li>・入居者の状態等配慮し関わっている</li> <li>・入居者の行動を見ていつでも休息出来る様に心掛けている</li> <li>・体調や本人の生活習慣に合わせて眠れる様支援している</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬の形状や、薬効、副作用等を記したファイルを常時全スタッフが見やすい場所に置いて、いつでも見られるようになっている</li> <li>薬の重要性を理解し、服薬の誤薬がない様に服薬は関わったスタッフが確認し、チェックリストに記録する</li> <li>変化のあった時は連絡ノートに書かれている</li> <li>とりわけ、便困者に対しては服薬後の変化に気を配っている</li> <li>細部までの薬の大切さを理解し、服薬の大切さを共有するように努めている</li> <li>薬の副作用、用法などには目を通し理解に努める</li> <li>解らない時はインターネットで調べたりもする</li> <li>出来る限り支援している</li> <li>個人ファイルを参考にしている</li> <li>服薬の時は名前と朝・昼・夕を必ず確認している</li> </ul>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳トレの好きな人、食器拭きが運動になるからと自分からやってくれる人、又男性入居者は毎食後の喫煙など入居者それぞれのニーズをサポートしている</li> <li>入居者の残存能力を活用して頂き、家事レクレーション等に参加して頂き発揮してもらっている</li> <li>入居者が孤立するような場合、極力声掛け等して関心を払う</li> <li>ケース記録等に目を通して、一人ひとりの支援をする様努力する</li> <li>過ごしやすい天候日は、庭にておやつを召し上がった散策したり、笑顔で1日過ごせるよう努めている</li> <li>生活歴に合わせその人の出来る事を思い出し(食器拭きや洗濯物をたたむ)お手伝いをしている</li> <li>出来る限り支援している</li> <li>庭に出たり、買物に行ったり、食事を作ったり、レク等個々の力を活かし、支援している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の中や庭に出る等の生活を楽しまれている事もあり、ほとんどの入居者は へ行きたい等の希望は聞かないが、家族により外出や外出レクは毎回楽しまれている</li> <li>・外気浴したり外でのお茶を楽しんだりしている</li> <li>・買い物に同行してもらったりスタッフに少し時間があれば軽自動車にお一人乗せて10分位のドライブをする</li> <li>・買い物や散歩等、出来る時は行く(暑さで無理はしない)</li> <li>・天気の良い日は散歩や外気浴や買い物(近所の生協)等誘う様にしている</li> <li>・ご家族の面会時も外出される事もある</li> <li>・なるべく外出等気分転換が出来る様考えていく</li> <li>・季節行事に合わせ外出したり(お花見や初詣等) 家族の方も現地に来て下さったりしている</li> </ul>	<p>買い物や散歩は近隣スーパーへ月に2回行っている。花見や動物園見物、紅葉狩りなど季節のドライブ、2~3人での外食が実施されている。天気の良い日には、庭に出てお茶をしながら外気浴をするなどしている。理学療法士の助言を得て、リハビリとして庭の散歩を計画に入れることもある。利用者からの外出要望が出ていないこともあり、外出の頻度は比較的少ないが、家族が散歩や映画に連れ出し楽しんでいる方もいる。</p>	<p>リハビリの散歩や外気浴が行われており、利用者への健康への配慮をしているが、馴染みの場所への散歩など日常的な外出支援を増やしていくことを望みたい。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を持ちたい思いは良く分かり、所持希望の強い入居者にはご家族と相談の上(紛失した場合の事etc.)持たせたい。当ホームでは現在そのような方はいない</li> <li>・現在、残念ながら本人に所持して頂く事はしていない</li> <li>・今後計画して買い物に同行し、ご自分でお金を使う事も可能であると思う</li> <li>・個別に財布があり本人の希望に沿って身の回り品・おやつ・タバコ等買う事が出来る様支援している</li> <li>・入居者個人が所持し直に使う事は無い様子</li> <li>・一人ずつ管理している</li> <li>・本人の希望に沿って買物、お金所持したり使える様支援している</li> </ul>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアする我々にとっても、大変うれしいことであり、自分のことの様に電話を取継いだり、手紙等は本人の常に見える場所に置く</li> <li>・利用者の希望があれば支援している</li> <li>・先日(男性)F様へ地方の息子様から電話が入り、取り継ぎ、お話している様子を隣りで見守った</li> <li>・終了時にお話しした内容等を再確認していただいた</li> <li>・現在本人が電話する事は無いがかけられるようになっている</li> <li>・特別だめではないが、あまり実践していない</li> <li>・本人の希望に沿って、事務所を通して自ら電話や手紙のやり取りは行っているも、そういった希望は今のところあまりない</li> </ul>	/	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に清潔感のある空間であるよう努力している又、ゆったりとした癒しの空間作りのため、自動香料の設置、活きのいい花を玄関、各洗面所、廊下には常に飾っている</li> <li>・毎日の掃除の実行、季節感のある壁飾り、一輪ざしの花等工夫している</li> <li>・居心地の良い空間づくりとしては、自分自身玄関・廊下・居室・トイレ等に美しい写真や思い出のイベントの写真等貼っている</li> <li>・庭の空間に関してはベンチなど1年おきのペイント作業も行っている</li> <li>・四季折々の飾り付けやトイレ・浴室の整理等を心掛けている</li> <li>・玄関、洗面所、フロアのテーブル等花が飾っており、季節感を出せる様工夫しているしトイレも見た目分る様に大きな文字で書いてある</li> <li>・実施しているが限界がある</li> <li>・フロアでは音楽を流している</li> </ul>	<p>玄関を入ると正面の小庭には、紅葉したもみじが見える。玄関、廊下、居間等の共用空間は採光、香り、温度等が快適に維持され、清潔感がある。廊下には美しい落ち葉の写真が掛けられ、随所に花が活けてある。クリスマスにまつわる装飾を施し、季節感を取り入れている。オープンキッチンでリビングとつながり、食事づくりをしながら利用者を見渡せ、会話ができる。リビングから足湯浴場につながるなど開放感のある豊かな空間を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ前のソファ、窓側の一人がけの椅子、又、事務所のスタッフとの会話等、それぞれの居場所を工夫している</li> <li>・各居室の他にフロア内にテーブルや椅子、ソファ等あり思い思いに過ごしている</li> <li>・レクレーション・脳トレ等を実践している</li> <li>・特にフロア(居間)に関しては気の合った利用者同士で席を決めたりテーブルにはテプラテープにて名前を作り、貼ってある</li> <li>・自由にテレビを観たり新聞を読んだり談話されたり、全員でCDを聞きながらコーヒータイムを楽しむ事も出来る</li> <li>・フロア内、居室に居る時は自由に行動できる</li> </ul>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その人らしい居室作りを本人やご家族と話し、工夫している</li> <li>・使い慣れた家具等で配置されている</li> <li>・ある居室には気に入った写真を廊下から持ってきて貼ってあげたり、家族が来た時に写真を撮り大きく(A4)引き伸ばして壁に貼ったりしている</li> <li>・入居者らしさのある居室作り、ご家族との交わりを通して居心地良い環境になる様心掛けている</li> <li>・個担があり、家族の方々と相談し季節ごとに整理整頓を心掛け、気持ちよく過ごせるよう工夫している</li> <li>・居心地良い居室である様配慮している</li> <li>・時々、入居者と一緒に整理したりする</li> </ul>	<p>居間のドアには利用者の表情豊かな顔写真が掛けられ、にこやかに迎えてくれる。整理ダンス、テレビ、仏壇、鏡台など馴染みの家具が供えられている。家族の写真や自分で編んだ服を着せた人形などが置かれたり、拘縮予防のリハビリ体操用に柱に目盛りをつけている方もいる。利用者・家族と個別担当スタッフとが協力し、整理整頓をし、居心地良い環境を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る機能(能力)はあるのにやりたがらない入居者も中にはいるが、それにしても非言語的又はさりげない声掛けの工夫によっては、楽しんで取り組まれる事もある</li> <li>・各々の居室のモップがけやゴミ捨て等声掛けでやって頂く</li> <li>・転倒しやすい方の居室には角にスポンジコーナーを貼りつけ、怪我が大事にならない様に工夫している</li> <li>・個室になっているのでテレビのある方は部屋で自由に観られる</li> <li>・入居者が自然体で自立した生活が出来る様努めている</li> <li>・食器拭き洗濯物のたたみ等、自立支援している</li> <li>・安全にフロア内を保っている</li> <li>・邪魔になる物は置かない</li> </ul>			

事業所名	グループホーム ソフィアライフ
ユニット名	さくら

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念に基に、ケアに当たっている</p> <p>理念については実践している</p> <p>事務所に掲げてあり常に目にふれる様にしてある</p> <p>オリエンテーション時に、プリントをもらい、共有し実践している</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>日常時に、周辺の散歩では、挨拶を行ったり、足湯の時交流があったり、ケアプラザや近所のコープへの買い物などがあり、交流している</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議の場での、参加者への周知や、今後、管理者がケアプラザ主催の研修(講座)に参加する予定もある</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>期間のホーム内の行事や事故等、ケアについても、話し合ったり、報告をしている</p> <p>地域のケアプラザの方が委員になっているので、情報を流して頂いている</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>本人の尊厳・意思を大切に、拘束はしないケアに、取り組んでいる</p> <p>拘束にならないようにケアに工夫したりと、予防を行っている</p> <p>無理に行わないようにする</p>		<p>何か集中できる事をする</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修の場で外部の研修の報告や、グループワークで、防止に努めている</p> <p>努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部の研修の報告を、内部研修やユニット会議(座談会)で共有している</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>			
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ケース会議を設けていたり、来所された時等にも、気軽に話せるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>法人への希望や要望のアンケートをする場がある</p> <p>その結果の答えも法人からあり反映している</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>今後キャリアパスへの取り組みがある</p>		
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>様々な外部の研修へ正規社員及び、非正規社員にも、受ける機会がある</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>アセスメントをしっかりととり、センター方式を活用して、本人の気持ちを最重要としている</p> <p>不安をなくすことには、自ら早く察するように観察する目を磨く</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族からも、本人の前や、外してもらっている際に、伺っている半年ごとのケース会議時や面会時など家族の要望、不安な事等聴き連携を取りながら始めている 面会時、ご家族等と出来る限りコミュニケーションをとるように努めご家族の不安・要望等に耳を傾け円滑に行うよう配慮 ご家族との信頼関係は、初期段階では話を良く聞くように心掛ける		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者が様々なプランを、相談し対応している 半年ごとのケース会議時や面会時など家族の要望、不安な事等聴き連携を取りながら始めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な関係ではなく、様々な事を教わったり、一緒に取り組んだり信頼し合える関係を築く様に努めている 「ここで一緒に暮らしている」新たな家族の様な気持ちで接している 食事を共にし、買い物。散歩等に一緒に行くようにし、又一緒に歌を歌ったり、会話等を持ち共にする者同士の関係を築いている 業務は目立たない様に行い、会話や日常生活(家事)を中心に一緒に過ごすようにしている 一人ひとりの生活スタイルに合わせながら、声掛け・見守りを推進していく		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への会話の中から、相談(要望希望等)を、伺ったり、ご家族と一緒にケアの方針を共有し、取り組んでいる ご家族の行事への参加 面会時やケース会議時に本人の希望や思いをしっかりと伝えている ご家族とも情報交換しながら接している 来所時、ご家族とのコミュニケーションをし、信頼関係を築いている なるべく多くご家族に面会をして頂ける様 連絡を密にしていきたい		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームで現状出来る範囲の事は、サポートできるように努めている(買い物・ドライブ・友達の来所・外食など) 関係の持続はできていないか本人の中でいつまでも生きる様に常に馴染みの人の会話をしている 昔の事や本人の好みの話をしている	民謡の曲が好みであればCDを流す等している	話題の延長でケアも上手く出来ると思う

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	適時、スタッフが介入し、認知症から及ぼす、トラブルを最小限になるようにサポートし(他者と居て)楽しいと思える環境作りに努めている 全体の様子をみながら皆と関わられるような声かけなど工夫している 食事テーブルの時々席替え、トラブルになる前に利用者の中に入り防止する 関係を常に見守り適宜間にさり気なく入っている 皆と一緒に会話したり笑ったりしたい 皆が参加できるレクをする 絶えず声掛けをし、共通する話を見だしていく様心掛ける いつもフロアにて、スタッフ利用者、利用者同士もお互いに交流を持ち日々過ごしている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人はもちろんの事、各スタッフ、ご家族の希望意向を伺った上、検討したアセスメント ケアプラン作成につなげている 出来る限り利用者の希望に沿えるよう努力している 常に色々な会話の中で聞き出すように努めている 共同生活の中で一人一人の思いを量ろうとするも中々難しい事もあるが出来る限り沿うように努力する 一人ひとりの思いを大切に		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントの際、センター方式を活用し、把握に努めている その人の馴染みの物など居室に置いたり飾ったりしている ご家族から話を伺ったり入所時の書類に目を通したりしている 生活歴の把握は、ケア継続していく上で必要、コミュニケーションの中で把握する		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録・業務日誌、他にも色々なチェック表、医療記録により、記録を残し現状の把握をしている その人に出来そうな事や出来ない事でも「出来るかもしれない」と思いチャレンジして頂くようにもしている 表情や身体の動き等日々細かく見守っている その方に合った生活のリズムを尊重し、出来る限り沿うように(1日を通し充実する様に)努力する・心掛ける		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ間ではユニット会議、ご家族とはケース会議時、Dr.とは受診往診時に話し合い、ケアプランに反映している 本人 家族の思い 意見を聞き半年毎介護計画を作成している ご家族とは面会時に行っている座談会にはほとんどのスタッフが出席する為、その場で自分の意見も出し、皆の意見も聞いている スタッフ同士意見やアドバイスを出し合っている 本人が出来る事柄を取り入れて生き生きと生活出来る様心掛ける	壊れている所などスタッフに告げる 清潔・衛生面に気を付ける(エアコンの汚れなど)	スタッフ皆に伝えていきたい
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録を各入居者ごとにとり、モニタリングも3カ月期間で行い活かしている アクティブレクやリハビリ表記入など個別で記録している 会議や申し送りノートの活用し活かしている 個別の記録を分りやすく記入している 他者の物もしっかり目を通して 本人が発した言動を事細かく記録し、不明な点があればその都度、話し合い確認し合っていく		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族、看護師、Dr.。スタッフ、様々な人からのアドバイスを受けつつ、柔軟な、より良いサービスに努めている ターミナルの決定の尊重		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺を散歩したり、動物園や遊園地、ドライブ、買い物などと、地域資源を活用している 可能な限り、地域の生協へ利用者と買い物(日々の食材)へ出かけている		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族に、受診及びかかりつけ医を決定して頂いている。処置や服薬についてなどの変更は、ご家族よりDr.へ依頼して頂く事もある 往診の主治医が居て、受診時など看護師から連絡し、適切な指示を受けている 内科・歯科・皮膚科往診があり。毎回Dr.に状態を報告している 常に連携を取り合い把握していく、受診、往診はかかさずしていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>管理者が看護師の事もあり、日常の気になる事から相談し、適切な処置やアドバイスを頂きケアに反映している</p> <p>特変時・利用者が普段と違う等何か気がつけば、看護師に報告・相談し適切な指示がある</p> <p>医療処置の様子観察を看護師に報告する</p> <p>原因、結果、経過をはっきりさせ把握していく</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>管理者中心(ご家族中心)に協力医もいて行っている。特変事等のサポートを連携医に事前に依頼していたりと備えてもいる</p> <p>大事に到らず、あまり入院せず</p> <p>介護サマリーを常にコピーし、用意してある(詳細を記入し)</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ケース会議の場や、来所された時には(入所する際にも)管理者より適切に行っている</p> <p>家族と話し合い説明を行っている、ターミナルの研修も実施している</p> <p>主に管理者から説明し話し合いを行っている</p> <p>終末期のあり方、ご家族と話し合いを持ち利用者にとって一番過ごしやすい安心できる場所としチームで支援する</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>内部研修で事故や急変時の対応についての研修があったり、特変事のマニュアルがあり活用している</p> <p>管理者の指示のもとで行動し、マニュアルもある</p> <p>急変時マニュアルを参考にしている</p> <p>吸引の使い方のマニュアルあり</p> <p>防災訓練、研修、座談会等で常に対応、話し合いをして行く</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練、前スタッフ参加、昼・夜と2パターンで行い、周知及び実践をしている</p> <p>マニュアルもあり、訓練している</p> <p>消防署との直接専用電話機・スプリンクラーの設置。</p> <p>防災訓練、研修、座談会等で常に対応、話し合いをして行く</p>	<p>地震や火災の時等座布団バスタオル、シーツ等使用する</p>	<p>スムーズに行う事が出来る様に努めたい</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせ工夫した声かけだったり、非言語的コミュニケーションを取り入れ対応している トイレ誘導等は、そばに行って小さな声(耳元)で“今丁度空いているわよ”と他の人に分らないようにしている トイレ誘導等コップを運ぶのを手伝って頂きながら自然に誘導する 一人ひとりの性格に合わせ信頼関係を築いた上での声かけを行っている それぞれ生活スタイルが違うので難しい事もあると思う 全く違う人格、生活スタイルが異なる為、思うようにいかない部分もあるが出来る限りの対応をして行く	他者に聞こえない様に、例えば排泄確認の時そっと小声で	9人それぞれ生活スタイルが違うので難しい事もあると思う	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	菓子の選別、レクの参加・不参加、手伝いの参加・不参加など決定出来る場がある 自ら発言、思い、自己決定出来るような話かけをしている 日常会話で本人の希望を把握して、どちらがいいですかと選んでもらうようにしている 声かけの内容を疑問形としている Yes・Noだけではなく「どうですか？」等 本人の言動を見逃さず、耳・目を傾け親身になって対応していく 自己決定にもっていきける様に支援する 皆と同じことをするのがいやそうな時さりげなく声掛けして他の事をしていただく			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしさを、大事にして希望に沿ったサポートをしている(全てにおいて、強制はしない) 自由に部屋に戻り過ごしてもらうなどその人のペースに合わせている 色々なレクレーションを日々行い、参加したい物に自由に参加して頂いている その人に合った過ごし方をして行く 一日の表立ったスケジュールを決め出来る限り、本人に合った対応を努めていく 今まで生きてきた経験誇りを尊重し言葉かけに注意し接する ゆっくりしていたい時、レク活動をしたい時、状況判断し1日を過ごす 居室対応にしたり、散歩日光浴など行っている			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時のモーニングケア時やイベント時には化粧をしたり、服を協力して選んだりサポートしている 出来る限り自分で洋服を選び着て頂くようにしている 外出時等、一緒に洋服選びする 時には口紅をつけ、身支度を整える支援をしている その方のADLに合わせ、櫛を渡したり、口紅を塗ったりしている モーニングケアの時等に初めに本人選んでもらいその都度アドバイスする 入浴・整髪・洗顔等をその方に合わせて対応していく 色合いや季節感をアドバイスしながら支援している			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合わせて、調理や盛り付け、配膳などを協力してもらいながら行っている その人に出来るものを見つけながら一緒にキッチンで手伝ってもらっている 出来る人には出来る事を、こうすればこの方は出来る等把握している で行っている 昼食・夕食は必ず利用者2～3人に入って頂き、一緒に作っている その時等に食べたい物を聞いたりしている それをその方の誕生会で造った事もある あまり食欲がない時等主食をおにぎりにする等 一緒に手がけた食事と言う事で美味しく頂ける様心掛ける 盛り付けや食事作り皿洗い、自ら手伝いましょうかと言われる方もあり 手伝いをしたそうな時、ゆっくりしたい時等、顔の表情をみながら手伝って頂いている	梅干・漬物を出してあげたりする	スムーズに間食してもらいたい 会話しながら召し上がってほしい	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や形態、水分量、トロミ等、個々に合わせたサポートをしている</p> <p>水分をなかなか摂れない人、摂らない人に関しては、冷たくしたり、温めたり飲んで頂けるような声かけを工夫している</p> <p>日々の観察、毎月の体重測定、又、利用者に応じて（水分摂取の少ない方達）“飲水チェック表”を作り毎日意識・管理している</p> <p>水分はゼリーにしたりしている 水補は多少の誤差はあるが、その方に合った声掛けで摂取できる様心掛ける</p> <p>ジュース、お茶他希望を聞きながら飲んで頂くよう心掛けている</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>必ず徹底した毎食後の口腔ケア、定期的なポリデント消毒などで清潔を保っている</p> <p>毎食後必ず口腔ケアの実施 見守り、介助あり</p> <p>自立、介助組と様々だが、その方に合ったケアをし、清潔さを保っていく</p> <p>毎食後口腔ケアの声掛け介助を行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>残存能力を活かすケアに努め、出来る限り、リハパンやオムツを使用しない工夫をしている(日中のみ下着等) ゆっくりと排泄する人は、トイレ時間を少し多めにとったりと、その人のペースをつかんで行っている 排泄パターンを把握しているので誘導している 色々工夫し、月1回の座談会でも話し合い、その人にとって1番ベストな排泄を工夫している</p> <p>“排泄チェック表”を参考に座談会等で毎回今の状態が合っているか話し合い、色々試しながら自立に向けケアを行っている</p> <p>その方によって時間配分も違う場合があるため、出来る限り声掛けを怠らない様にする</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>飲水チェック表の活用(イン水量の計測) AM・PMの体操、アクティビティなレク等(リハビリも)取り組んでいる 食事量のチェックも行っている</p> <p>ウォシュレットで刺激したり漢方で調整したりしているが運動への働き掛けはしていない 水分補給や繊維質の材料での食品の用意 センナ茶の服用 排泄の記録、飲食もとの工夫や運動 リハビリや体操にも取り組んでいる</p> <p>水分チェックを行い多めに摂取して頂いている 食事にも野菜を多く使用している トイレの際は声掛けをしいきむ動作を一緒に試してみる</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>希望があれば入浴したり、拒否がとても際には延期したりと、本人に合わせてられるように努めている 希望される方には応じている</p> <p>職員の都合で入浴している</p> <p>入浴希望が可能な時には希望に沿ったケアを行っている 時間帯は決められている</p> <p>仲の良い利用者と一緒に入ってもらいたいしている</p> <p>自立組と介助組とが重ならない様に決め、ゆっくりと入浴してもらえる様に心掛ける</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも入室できる環境に努めている 温度湿度などの環境についても気を遣っている 個々に休む時間を作ったりしている 個々に合わせ休みたい(疲労感が強い)時には居室に戻って休んで頂いている フロア等で居眠りしていたりしている人は、ベッドに横になって頂いたりしている 居眠りの見られる利用者には、居室で臥床されてはどうか声かけを行っている 疲れている時等は休んで頂く その人のペースによって、昼寝をしていただいている 居眠りが多く見られる場合や入浴が、外出後等は居室にて臥床していただく様に心掛ける		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	事務所に服薬の様々な事が記載してある表を掲示したり、日々の状態を相談(Dr.へ)したりしている 使用している薬の一覧表を見られる状態になっている 薬の取扱表のファイルがすぐ見られるようになっており副作用・用法などすぐに確認出来るようになっている 服薬ファイルを作成しており、把握している 様子観察 見守りをする 常にメモ(ファイル)を見ながら対応している 服薬の用途を把握し、毎日の身体の状態を確認していく		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作成、裁縫、習字、食器片付け、読書、TV(ビデオ観賞)、唄、絵(色塗り)、ゲームなどで、色々なレクを工夫して気分転換にもなっている 各クラブ(手芸、麻雀等)活動もあり、自分が活躍できる支援している 日常の料理作りだったり 一人一人の生活歴について回想的な会話を心掛け表情が輝く時を大切にしている 色々なレクリエーションを行っている 日常の役割を習慣として行っていたり声かけする レクリエーションにも力を入れていく 料理好きの方には声を掛け自らの役割楽しみ事を増やしている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	状況に応じて外出(散歩、買い物)をしたり、ご家族により外出したりとサポートに努めている スーパーに買い物だったり、日光浴など施設での外出行事も行っている 季節感のある外出支援は行っている 季節に応じ外出をしている 本人の希望をご家族へ伝えている 実際に希望の所へ外出された利用者もいる 希望に沿った外出が、家族との間で実現できた時の利用者の喜びは大きい 買い物、季節ごとの行事等出来る限り行き無理のない様に行っていく		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	理解はしている 現状で、希望がほとんどないが、過去にはサポート経験があり 本人がお金を使う事がない。訴えもない 今の利用者のADLでは難しい為、所持や使用はして頂いていない 本人の希望をコミュニケーションを通し把握し、ご家族に伝達する役割をしている 事務所の金庫に預かり、本人の希望があれば購入できるようになっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホームからの積極的な電話や手紙等のやり取りを促したりはしていないが、希望があれば出来る 自ら電話・手紙でのやりとりをすることはないが、いつでもやり取りができるよう準備ができる。 ご家族からの電話に出て頂く事はあるが、本人自らはない 家族からは手紙がくる事はあるが中々本人が書く事は困難に近いが出来る限り支援をし、やり取りが出来る環境作りを行っていく 手紙が家族から来たらしばらく自分の席のテーブルにはさんでおいておき眺めている様子あり、電話で遠方の親族との会話もあり 利用者からの希望はほとんどない		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレのドアに「トイレ」と大きく見えやすく、分りやすい様に文字を掲示したり、衛生環境には気を配っている（清潔さ、温度） 毎日の清掃だったり季節に合わせた飾り付けだったり行事ごとの写真を貼ったり工夫している 各人の居室には大きく名前を貼ってある（表札） 季節ごとの写真を貼っている 常に清潔に掃除等に気を付ける 季節ごとの花、旬な食物、行事の際の写真や習字などを装飾し、生き生きと過ごせる様な工夫をして行く 常にお花を入れ替えたり貼り絵などをして皆で飾り付けをしている		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ（TVの前）がありその場所を活用してりと工夫している ソファに移動してもらい、テレビを見たり、談話したり工夫している テレビ前のソファにてゆっくり仲の良い利用者同士過ごして頂く事がある 台所、フロアのテーブル等で、お菓子作りや料理等一緒に行う 食事作りの際、台所での会話、入眠前の時間の過ごし方等の環境を整える 又、居室に入室された時の空間も見守りをしていく 自ら居室フロアを自由に行き来し過ごしている ほとんど、食堂のテーブルを囲んで談話をしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームに入居する前より使用していた布団、箆笥、衣類、仏壇、置物、TV等満ち込み居心地良い様に努めている 馴染みの物や、使い慣れたものなど置いたり使用してもらったりしている テレビの前にソファを設置しており、その場でお茶飲み等したりしている 整理整頓、一緒に行ったりしている 居室の掃除で清潔感を表したり、花や写真などを飾ったりと気持ちが落ち着く環境を整える	整理・掃除等	フロアに居る事が多い 為自らはなかなか出来ない
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーな環境になっているエレベーターやスロープも備わっている 自室・トイレ扉に名前が貼ってあり、分るようになっていく（わかりやすく大きな字で） 本人が好む事や出来る事はやって頂く 本人がこれだけは私に任せて、これは出来ると言うものを引き出して生活が送れる様心掛ける 居室とフロアを自由に行き来出来ている		